

保健師だより



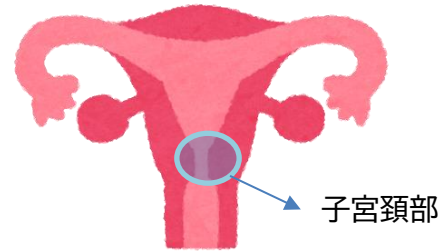
第 222 号
2021 年 9 月
神奈川県建設連合
国民健康保険組合
藤田

今年のがん検診はもうお済みですか？昨年度は受診控えの影響でがん検診の受診率が前年比で 3 割減となったことが分かっています(日本対がん協会による調査)。

早期がんを発見できる期間は1~2年といわれています。タイミングを逃さないためにも定期的のがん検診を受けることが大切です！今回は女性にぜひ受けてほしい子宮頸がん検診についてお知らせします。

子宮頸がんは20代でも発生します！

子宮頸がんは子宮頸部の入り口に発生する事が最も多く、初期には自覚症状がほとんどありません。子宮頸がんにかかる人を年代別で見ると 20 代後半から増え40代がピークになります。



がんになる前に発見ができます！

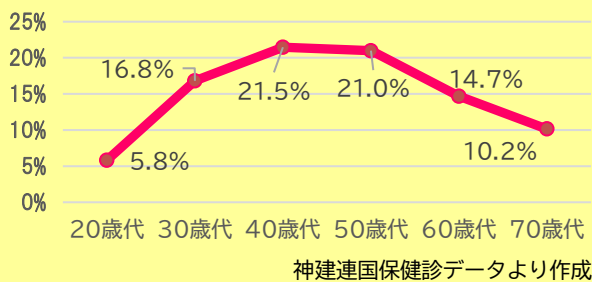
ほとんどの子宮頸がんは HPV ウィルスが原因でおこり、通常は免疫力によって排除されますが、持続感染する場合があります、子宮頸部にがんに行進する可能性がある細胞(異形細胞)が増えていきます。定期的に検診を受ければ、この異形細胞の段階で見つけることができます。

子宮頸がん検診の方法は？

子宮頸部の入り口部分の細胞を少しこすり取り、がん細胞またはがんになりそうな細胞が存在しているかどうか調べます。検査にかかる時間は 1~2 分と短い時間で、ほとんど痛みもありません。月経時を避けて検診の予約をしましょう。

令和2年度

子宮頸がん検診年代別受診率



若い年代ほど受診率が低くなっており、全体でも受診率 15%と、未受診の方が非常に多くなっています。家族や仲間ですべて声をかけて、今年は必ず受診しましょう！

子宮頸がんと子宮体がんの違いは？

子宮体がんは、子宮内膜に多く発生します。内膜は月経のときにははがれてしまうので、閉経前に子宮体がんが発生することはまれだといわれています。

年齢別にみた罹患率は、40 代後半から増加して 50~60 代でピークになります。

子宮体がんの検診は国の指針では勧められていませんが、子宮体がんは症状が進行していない早期の段階で不正出血を起こすことが多いといわれています。少量でも出血がある場合はすぐに婦人科を受診しましょう。

神建連国保では 20 歳以上の女性の方であれば無料で子宮頸がん検診を受けられます。指定医療機関で基本検査を予約する際に子宮頸がん検診も受けたいと申し込んでください。(子宮頸がん検診の実施がある施設かどうかご確認ください。)

なお、指定外の医療機関で子宮頸がん検診を受けた場合も、年度内に基本検査を受けていれば費用補助を行っています！

詳しくは建設国保保健課まで！ ☎045-453-9661

建設国保のホームページで



診の受け方をチェック！